移動分科会　11月22日(金)

●参加費とは別に、交通費・資料代などが必要になります。
●集合場所・時間など詳しくは「大会しおり」でお知らせします。

① 日本遺産のまち「有松」を「あないびと」と歩こう（定員30人）

江戸時代にタイムスリップしたような、歴史と伝統の息づく街、東海道五十三次の39番目と40番目（鳴海宿）の間の宿場町「有松」の街並みを「あないびと」の語りとともに、伝統産業の「有松絞り」、指定文化財の山車を見学します。また、穏やかな有松の地にも、太平洋戦争末期には、捕虜収容所がありました。収容所の担当医師と捕虜の人間的交流を紙芝居で学び、暮らしと平和について考えます

② 熱田区の古代遺跡と熱田空襲を辿る（定員20人）

ウォーキング　身軽な服装で参加しましょう

名古屋国際会議場のある熱田区には古代遺跡や東海地方最大の日本式庭園、白鳥庭園などがあります。また1945年6月9日、米空軍のB29爆撃機が来襲し、兵器製造工場の愛知時計電機とその子会社・愛知航空機を中心とする工場を爆撃、８分間の爆撃で２千人をこす命が奪われました。今も残る爆撃の爪痕、平和への願いを込めて建てられたお地蔵さんなどもご紹介します

③ 特別史跡名古屋城の魅力再発見と「天守閣木造復元」について考えよう（定員30人）

特別史跡名古屋城は、日本の城の中では最も新しい城の一つで、築城史の最新の設計と技術の粋を集めた「日本の城郭の結晶」ともいえる城です。その魅力を再発見すると共に、市民の意志をないがしろにして強行しようとしている「天守閣木造復元」の愚かさを考えます。さらに、時間があれば、NHK朝ドラの「虎に翼」のロケ地、「名古屋市役所本庁舎」と「名古屋市政資料館」を見学します

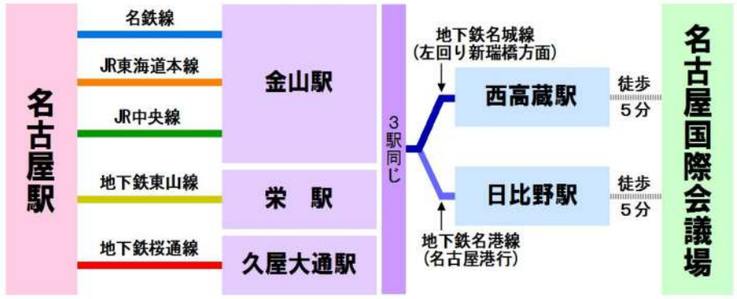
大会参加申し込みについて

●第一次申込締め切り日は2024年９月30日です。それ以後も、当日まで申し込み、参加できます（当日、受付もあります）
●参加申し込み方法　「参加申込書」と「参加費」を各県連絡会・中央団体にご提出下さい
（オンライン参加の場合も同じです）
●参加申込者には大会開催前（10月半ばころ）に「大会しおり」と「参加証ワッペン」を送ります。大会当日持参してください
●オンライン参加者にはオンライン参加方法と「大会しおり」をお渡しします

移動分科会に参加を希望する方

●大会参加申込と「移動分科会」の申込の両方を各県連絡会に提出してください
●移動分科会の申し込み期間は10月１日～10月９日です。申し込みが定員を超えた場合は抽選になりますのでご了承ください
抽選の結果は、各県連絡会を通じてお知らせします

名古屋駅から会場へのアクセス



〒456-0036
愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番地1号
電話052-683-7711

第4分科会
（11月22日）
短歌募集!!
（テーマ自由）

締め切り／９月３０日必着
ハガキにて　〒170-0005　東京都豊島区南大塚3-40-8　大久保商事ビル3F
新日本歌人協会宛
※短歌1首と名前・住所・連絡先（FAX・電話・メールアドレス）
※高齢者大会用と赤字で明記し、当日参加の有・無もお書きください

世界中の戦争をなくそう！　平和な地球と豊かなくらしをとりもどそう！
すべての人が手をとり合って、飢えと貧困をなくそう！

2024年 第37回

日本高齢者大会 inあいち

11/22(金)・23(土祝)

記念講演
人権は生きる力 希望ある社会のために
藤井克徳さん
（きょうされん専務理事）

プロフィール
ＮＰＯ法人日本障害者協議会代表、日本障害フォーラム（ＪＤＦ）副代表。
2012年　国連・ＥＳＣＡＰチャンピオン賞受賞（障害者の権利擁護関連）、
2022年　日本放送協会放送文化賞受賞。

オープニング
大合唱・太鼓演奏

名古屋国際会議場

名古屋市熱田区熱田西町1-1

11月22日(金)
13:00～ 学習講座・分科会・移動分科会
17:00～ 夜の交流会(愛知労働会館)
11月23日(土・祝)
10:15～ 全体会(12:30 終了予定)
●オープニング　●基調報告　●記念講演

参加費
1日／2,500円　2日／5,000円
オンライン参加　1日／1,000円

まちから村からの連帯で　ひとりぼっちの高齢者をなくそう

第37回日本高齢者大会inあいち　中央実行委員会
〒164-0011　東京都中野区中央5-48-5-504
TEL /Fax　03-3384-6654　E-mail: nihonkouren@nifty.com

第37回日本高齢者大会inあいち　現地実行委員会
〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町９番7号労働会館東館301　愛知社保協気付
TEL 052-889-6921　FAX 052-889-6931　Email : k-taikai@airoren.gr.jp

学習講座・分科会のご案内　11月22日(金) 12時開場　13時開会　会場／名古屋国際会議場

●大会本部 2号館１階213●

■学習講座　前半13時10分～14時40分　後半15時～16時30分　■分科会　13時10分～16時30分（途中休憩時間あり）

オンライン配信●

	会場		テーマ	講師・助言者	学習講座・分科会のねらい
学習講座	第1学習講座	1号館 4階 レセプションホール	能登震災から考える災害・防災・原発の課題	**立石雅昭**(新潟大学名誉教授) **現地支援経験者** (名古屋市職労・名古屋水道労働組合)	2024年1月1日の能登震災は地震の規模、特徴に加え立地条件、復興の困難さはこれまでにない大きな課題を提起しました。専門家、復興支援者の報告から、教訓とすべき課題を考えます
	第2学習講座	1号館 3階 131・132	日本高齢者人権宣言が輝く明日の社会を展望しよう	**井上英夫**(金沢大学名誉教授) **小池振一郎**(南北法律事務所弁護士／日弁連政府から独立した人権機関実現委員会委員長)	高齢者の人権保障は、すべての人々の人権保障につながります。日本高齢者人権宣言が輝く社会はどんな社会か、明日の社会を思い描き、展望しましょう。日本は人権後進国、国際基準からは多くの課題があります。国連人権理事会が日本政府に勧告する国内人権機関の設立の意義と展望を学びます
	第3学習講座	1号館 3階 133・134	高齢者の就労と労働問題、 増える高齢労働者、課題を探る	**河合克義**(明治学院大学名誉教授・学長特別補佐)	低い年金収入、医療、介護の自己負担増、諸物価高騰で高齢者は働かざるを得ない状態に追い込まれています。高齢者の賃金・労働条件は低い水準にあります。高齢者の仕事と生活の実態に関する全国調査の結果から、日本の課題を学びます
	第4学習講座	1号館 4階 141・142	国によりすすめられる沖縄の軍事基地化と 愛知県内の軍需産業の実態	**伊波洋一**(参議院議員) **城下英一**(愛知県平和委員会副理事長)	日米軍事同盟の強化、殺傷力のある武器輸出の解禁と、戦争できる国づくりが進められています。台湾有事を煽り、沖縄の各島しょ部で軍事基地化が強行されています。その実情と島民の生活への影響について学びます 愛知県内の軍需工場の実情と、敵基地攻撃能力の実情及び愛知県内で武器生産の状況について学びます
	第5学習講座	2号館 3階 234	高齢者の健康づくり 楽しんで心も体もリフレッシュ	笑い(ラフター)ヨガ **家根谷政雄**(ヤネヤコーチング) ちゅーぶ体操 **原　晴美**(日本体育協会公認スポーツリーダー) フレイル予防　(理学療法士)	高齢化が急速にすすみ「フレイル」という言葉をよく耳にするようになりました。フレイルは加齢によって気力や体力が落ち、要介護の一歩手前の状態のことです。「年をとっても住み馴れたところで健康でいきいきと暮らしたい」。楽しく元気な高齢期をめざして、いまできることをごいっしょにやってみませんか
	第6学習講座	2号館 2階 224	医療費患者自己負担を減らしてゼロへ ～沢内村から学んで実現する	**横山壽一**(佛教大学名誉教授) **森　弘典**(いこいの森法律事務所 弁護士) ビデオ報告　沢内村　**増田　進**(元沢内病院院長)	度重なる医療費の自己負担増は国民の医療を受ける権利を奪っています。自己負担を減らす、そして自己負担ゼロがなぜ必要なのか、その根拠、可能なのかなどを深めます。60年以上前に日本で初めて老人医療無料制度を実現し、現在もなお実施している沢内村からの報告と問題提起を受け、可能性について意見交換しましょう
分科会	第1分科会	2号館 1階 展示室 211	ジェンダーと女性の低年金 最低保障年金制度の実現を	**千葉恵子**(渋谷共同法律事務所　弁護士)	女性の低年金は、結婚・出産による離職、再就職しても、低賃金の非正規雇用が多いことが原因の一つ。「男は外で働き、女は子育て」というジェンダー不平等も。女性の差別の実態を知り、運動の方向を学び討論します
	第2分科会	2号館 1階 展示室 212	地域に高齢期の運動を根付かせる活動	**鈴木　静**(愛媛大学教授)	（1）わがことまるごと地域共生社会路線のもとで変化する地域の現在の特徴を明らかにする（2）地域で高齢者のくらしと人権を守る運動を交流する（3）地域高齢期運動連絡会の具体的活動を交流する、以上３つを課題に「高齢期運動・高齢期運動連絡会とはなにかの共通理解をめざします
	第3分科会	2号館 2階 221	加齢性難聴と補聴器について知ろう 補聴器購入助成制度の実現をめざして		加齢に伴う聴力の低下によっておこる加齢性難聴、75歳を過ぎるとふたりに一人の割合で難聴になるとも言われています。耳が聞こえにくくなると、危険の察知やコミュニケーションにも支障をきたし、孤立、鬱状態や認知症の要因となるとも指摘されています。しかし国保や後期高齢者医療の健診には聴力検査がなく、高額であるために日本での補聴器使用率は欧米諸国と比べて低い状況です。一方、ここ数年で購入助成制度の創設を求める運動が全国に広がり、国の制度を待つことなく助成を実施する自治体も増えています。高齢者が安心して元気に暮らせるよう助成制度の実現を求める運動を大きくひろげていきましょう
	第4分科会	2号館 2階 222	高齢者と文化―暮しの中から短歌を、 短歌を希望のエネルギーに	**津田道明**(新日本歌人協会　代表理事)	平和への思い、暮らしの中の自分の思いを歌った「短歌」を募集し、分科会でその作品を鑑賞します。また、「生活をいける華道　華原の会」（生け花団体）の協力を得て、分科会の中で、花を歌った作品を作ります。そして最後に、万葉集から現代短歌までの「老いの歌」を学び、味わいます
	第5分科会	2号館 2階 223	高齢期を生き生きとさせる文化活動	高齢期の文化活動は様々なところで行われている。高齢期であるがための問題点もある。指導的立場の人が亡くなられたり、病気などでやめられ、参加者が減り、会の継続が困難になったりすることもある。技術が親睦かの葛藤もあるでしょう。現状の報告をし、意見交換しましょう。文化活動に参加したいと思う人も参加すると、自分に合った何かがみつかるかも	
	第6分科会	2号館 3階 231	安心して住み続けられるまちづくり	DAYS BLG！はちおうじ(介護事業所) みえ医療福祉生活協同組合	主体的な参加で豊かな高齢期をつくる　各地の実践を交流します ●支援する、支援される関係ではなくともに支えあうまちづくり ●地域の中での役割とつながり、生きがいと居場所をつくる介護 ●子どもから高齢者までが参加した共生のまちづくり
	第7分科会	2号館 3階 232	歯科講座	**久野よし乃** (歯科医師・北医療生活協同組合北生協歯科所長／全日本民医連理事・歯科部副部長)	年齢を重ねると、話しがしにくい、モノが噛みにくいなど、おくちにまつわる困りごとが出てきた方はいませんでしょうか。口の機能が衰えると、全身の衰えにもつながります。全身の健康はお口から、お口の健康をまもり、元気な高齢期を過ごすためのお話をします。
	第8分科会	2号館 3階 233	介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険へ ―社会保障政策の転換とジェンダー平等の実現を	**日下部雅喜** (大阪社会保障推進協議会介護保険対策委員長) **林　泰則**(全日本民医連事務局次長)	① 介護保険制度の現状、利用者・現場が抱えている困難を共有し、明らかにする ② 必要なときに必要な介護が保障される制度に転換するための課題を掘り下げる
	第9分科会	4号館 4階 431	住まいは人権 ―“住みづらさ”の背景と 居住福祉実現への課題を考える	**岡本祥浩** (中京大学総合政策学部教授、日本居住福祉学会会長)	日本の住宅政策は「市場まかせ」「民間まかせ」。高家賃・契約拒否など高齢者に“住みづらい”問題が起きています。世界の基準「住まいは人権」、住まいは生活の基盤、命と健康を守る場であるとの視点から問題の背景を深め、「居住福祉」を実現するための課題を考える分科会です
	第10分科会	4号館 4階 432	交通・高齢者の移動手段の確保	**三浦　勤** (元名古屋市交通局職員・東海自治体問題研究所所会員)	豊かな暮らしとは…人との交流、文化にふれる、買物、通院、通勤など、家から出掛けられる手段が必要。分科会では、「交通」は、衣・食・住に加えるべき人権であり、自己責任ではなく国、自治体の責務であることを学びます。そして、今後の運動をみんなで考えます

夜の交流会

うたごえ交流会　時間17時～19時　会場／愛知労働会館 東館ホール

【会場へのアクセス】名古屋国際会議場(徒歩3分)▶東高蔵駅(地下鉄1駅)▶金山駅下車(徒歩7分)▶労働会館東館ホール

●学習講座・分科会・移動分科会・夜の交流会のテーマ・講師は大会当日までに変更する場合があります。後日配布する「大会しおり」を参照してください。

愛知実行委員会ＨＰアドレス https://koureisya-aichi.jimdofree.com/

現地実行委員会の準備の様子をお知らせしているＨＰです。愛知におみえのさいに寄って頂きたい愛知の思い出になるスポットもご案内しています。大会前後の時間も、お楽しみ頂きたいと思います・「リーフレット」に書かれていない案内も、このＨＰの中で説明しています。

QRコードをスマホで読み取って下さい。